

核変換物理実験施設に関する研究会

日時：平成12年6月14日(水) 13:30~17:30

場所：原研本部 第6会議室

プログラム

1. あいさつ、主旨説明、統合計画の現状(座長：原研 高野 秀機)
原研 池田 裕二郎 13:30~13:45(15分)
2. 核変換物理実験施設の検討状況(座長：原研 高野 秀機)
 - 2.1 目的、実験項目、装置概要
原研 大井川 宏之 13:45~14:10(25分)
 - 2.2 陽子ビーム取り出し
原研 明午 伸一郎 14:10~14:20(10分)
3. 核変換のためになすべき実験について
(座長：東北大 岩崎 智彦)
 - 3.1 加速器駆動未臨界システムの炉物理
京大炉 代谷 誠治 14:20~14:40(20分)
 - 3.2 未臨界度の計測
名大 山根 義宏 14:40~15:00(20分)
- 休憩 15:00~15:15(15分)
- (座長：京大炉 代谷 誠治)
 - 3.3 MASURCA 実験の現状
原研 山根 剛 15:15~15:35(20分)
 - 3.4 MA 及び LLFP を使った実験
東北大 岩崎 智彦 15:35~15:55(20分)
 - 3.5 高速炉を使った核変換の立場から
JNC 若林 利男 15:55~16:15(20分)
4. 討論：21世紀の炉物理実験施設として備えるべき要件は何か？
(座長、司会：名大 山根 義宏)
 - 4.1 世界の実験施設のレビュー
原研 岡嶋 成晃 16:15~16:30(15分)
 - 4.2 討論 16:30~17:20(50分)
5. まとめ
原研 高野 秀機 17:20~17:30(10分)

討論のポイント

(1) 実験装置の目的・必要性

(2) 国内・国外の他施設との関係

(3) 実験施設の仕様

- a. 横置き 縦置き
- b. 板状燃料 ピン状燃料
- c. 装置の大きさ (F C A : 2.8m × 2.8m × 2.6m)
- d. 熱出力 (500W で検討中)
- e. 陽子ビーム出力 (10W で検討中)
- f. 陽子ビーム特性 (低デューティー・パルスのみ)
- g. 核燃&RI取扱 (Pu 燃料、MA サンプルは当初から使えるようにしたい)
- h. その他の実験設備
 - ・ D - T 中性子源
 - ・ Cf-252 中性子源
 - ・ サンプル・カウンター駆動機構
 - ・ 非密封 RI 取扱用グローブボックス
 - ・ TOF 測定用実験孔
 - ・ 炉心昇温装置